



# ダイヤHD、生産移管

## 鳥取の電子機器、収益改善

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス(HD)は2022年3月期までに、子会社のダイヤモンド電機が鳥取工場(鳥取市)で手がける電子機器生産を新潟と栃木の生産拠点に移管する。エアコン用や給湯

器用の制御基板を生産しているが、赤字が続いていた。同社は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で主力の自動車部品事業も収益が悪化している。鳥取の電子機器生産を他拠点に

鳥取工場と本社(大阪市淀川区)で計150人の希望退職を募ることや役員の報酬減額などを発表済み。鳥取工場は主力の自動車用点火コイル生産に集中する。

ダイヤHDは新型コロナウイルスの影響で車部品の顧客工場が停止するなど、21年3月期は前期比2割程度の減収を見込む。鳥取の電子機器は付加価値製品への移行や人件費を含むコスト低減が進まず、「車向けの収益でカバーしきれなくなった」(小野有理社長)。

移管先はダイヤモンド電機子会社の新潟ダイヤモンド電子(新潟県燕市)と19年に買収した田淵電機の子会社・田淵電子工業(栃木県大田原市)。新潟は

冷暖房機用の制御基板や暖房・給湯器用の着火装置、栃木は太陽光発電用パワーコンディショナーや蓄電システムを生産している。鳥取から両拠点へ人員の配置転換も進める。

ダイヤモンド電機の電子機器事業はダイヤキン工業向けのエアコン用制御基板が主力。田淵電機はエアコン用変成器を生産している。